

**太秦体力測定会に参加を希望される皆さんへ
過去に本測定会に参加いただいた皆さんへ**

太秦体力測定会は、高齢者の健康寿命延伸に影響を及ぼすさまざまな要因を解明するために、地域高齢者を対象に 2002 年よりコロナ禍の 4 年間を除き毎年継続しています。本学の太秦キャンパスを会場に測定会を開催したのは 2016 年からで、2015 年までは京都府立医科大学の体育館を会場に実施してきました。コロナ禍 4 年間については本学での測定会は持てませんでしたが、コロナ感染状況が落ち着きはじめた 2022 年には、一部の方にご案内して、コロナ禍でも可能な測定を、京都大学を会場に実施してきました。本測定会には、本学健康医療学部の教員の他、歯科、理学療法、整形外科、工学、栄養、看護などの他領域の研究者も参加して、皆さんの測定・調査を行っております。また、本測定会は、京都先端科学大学をはじめ、共同研究者の所属する研究機関の地域貢献事業の一環として実施しております。測定した内容で個人に返却できるものについては、全てフィードバックしています。測定会への参加は、案内文を郵送する方法に加え、専用のホームページからも募集しています。参加には特別の制限はございません。ご家族や友人をお誘いの上、ぜひともご参加いただけますようお願い申し上げます。

また、本測定会で調べられるデータのうち、体格や体力、身体組成、日常の生活習慣など、基本的な調査項目については、健康寿命延伸につながる総合的解析が可能になるよう、個人が特定できない形でデータベース化されています。こちらにつきましても研究の目的や意義をご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。なお、このような解析に自分のデータを使ってほしくない場合や、太秦測定会全般に関するご質問がありましたら、下記（7）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》

健康寿命延伸につなげるデータベースの構築（高齢者を対象にした、体格、体力、身体組成および生活状況に関する調査：太秦体力測定会）

《研究対象者》

2002 年～2015 年に京都府立医科大学で実施された測定会に参加された方
2016 年以降に京都先端科学大学で実施された測定会に参加された方
2017 年～2019 年の測定会に参加された方にご案内した、2022 年に京都大学で実施された測定会に参加された方

《研究期間》 2024 年 6 月 5 日～2030 年 3 月 31 日

《研究代表者》 京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構 機構長 藤田 裕之

《研究実施機関》 京都先端科学大学 アクティブヘルス支援機構（研究責任者：藤田裕之、機構長）
京都先端科学大学 健康医療学部（研究責任者：田中秀央、学部長）

《共同研究機関》 東北大大学 大学院医工学研究科（研究責任者：山田陽介、教授）

京都工芸繊維大学 基礎科学系（研究責任者：来田宣幸、教授）
びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部（研究責任者：渡邊裕也、准教授）
日本歯科大学 大学院歯学研究科（研究責任者：菊谷武、教授）
藤田医科大学 医学部・歯科（研究責任者：吉田光由、教授）
広島大学 大学院歯学研究科（研究責任者：吉川峰加、准教授）
京都大学 医学部人間科学科先端リハビリテーション科学コース
(研究責任者：谷口匡史、助教)
京都橘大学 健康科学部理学療法学科（研究責任者：甲斐義治、教授）
洛和会・丸太町リハビリテーションクリニック、京都府立医科大学、整形外科
(研究責任者：森原徹、院長、客員研究員)
同志社女子大学 看護学部（研究責任者：岡崎和子、助教）
奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域（研究責任者：佐藤嘉伸、教授）

《意義》

太秦体力測定会は、地域貢献事業の一環として取り組んでいます。結果を皆さまに返却することで、皆さまの健康づくりにいかすことができます。また、ここで収集したデータをデータベース化して一括管理することで、多変量による解析や縦断的な解析が可能になり、元気で長生きできる方の特徴をより明確にすることができます。このような結果は、老化研究の上で極めて重要な知見であるとともに、個人の健康状態や地域の相違を考慮した健康寿命延伸のための対策を立てる上でも有用なエビデンスとなり、地域や国の施策にいかすことができます。

《目的》

本課題では、健康寿命延伸につなげるデータベースの構築を目的に、太秦体力測定会に参加する地域高齢者を対象に、体格、体力、身体組成、および生活状況に関する調査を実施します。

（2）研究の方法について

《研究の内容》

測定会に参加された方全員が実施する項目（基本コース）と希望者に実施する項目（じっくりコース：自由参加）があります。基本コースは京都先端科学大学が中心になって担当しています。じっくりコースは共同研究でこの測定会に参加する研究機関の先生方が担当されるオプション項目です。具体的な項目は下記をご参照ください。基本コースは、全てデータ化し、匿名化した後に、京都先端科学大学で保管している太秦測定会データベースに取り込みます。じっくりコースについても一部データはこのデータベースに蓄積されます。測定会で収集されたデータ（およびデータベース）は、横断的・縦断的な解析によって、健康寿命延伸のための要因解明に使われます。

《調査項目の詳細》

A. 対象者が共通に実施する項目（基本コース）

- 1) 体格（身長、体重）、体力（長座体前屈、ファンクショナルリーチ、開眼・閉眼片足立ち、ステッピング、チェススタンド、シャトルスタミナウォーク (SSTw)、10m歩行（速歩、通常速度）、タイムドアップゴー、垂直跳び、握力）、身体組成（多周波インピーダンス法による骨格筋量、体脂肪量、水分量）
- 2) 生活状況：属性、健康・体力の状態、運動の実施状況、睡眠時間、飲酒、喫煙、趣味、役割、生活満足度、食事・栄養バランス、口腔機能、持病、服薬状況、痛み、基本チェックリスト、well-being 尺度

B. 希望する対象者に実施する項目（じっくりコース：自由参加）

共同研究機関が提供するオプション項目で、下記は、2025年の測定・調査項目です。

- 1) 歯の検診（口腔内検診・口腔機能）：日本歯科大、藤田医科大、広島大の歯科グループが担当。ここでは、残存歯数、口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力、舌口唇運動機能低下、舌圧、咀嚼機能、嚥下機能、口腔細菌数、唾液量、口唇閉鎖力等の口腔機能を検査する。所要時間は約20分
- 2) 肩関節機能：橋大、京都工大、京都府立医大、丸太町病院の理学療法士、体育、医師からなるリハビリテーション関係のグループが担当。ここでは、肩関節病変の評価、肩関節のエコー検査、肩関節の疼痛に関する問診、肩ストレステスト、肩関節機能（筋力、可動性、深部感覚など）の評価、および姿勢評価などを行う。所要時間約20分
- 3) 下肢機能：京大、関西医大の理学療法士グループが担当。ここでは、大腿部のエコー、計測をする。所要時間10分
- 4) 脳機能：本学の言語聴覚のグループが担当。ここでは、アイトラッキング、脳波、VRあるいはAR、各種神経心理学的評価（MMSE-J、WM測定等）を行う。所要時間約45分 VRあるいはARについては太秦体力測定会で希望者を募集し、調査を実施する。
- 5) 歌うことと健康：同志社女子大のグループが担当。ここでは、生活の中で歌う習慣があるかを調査する。所要時間5分。
- 6) レントゲン画像/CT画像とAI解析：奈良先端科学技術大学院大学のグループが担当。このグループは、単純レントゲン画像のAI分析によって、サルコペニアや骨粗鬆症を簡便・高精度に計測できる手法の確立を目的に、太秦体力測定会で希望者を募集し、腰部と股関節のX線画像と、腰部～膝までのCT画像を取得する。X線撮影とCT撮影は丸太町病院にて実施する。なお、丸太町病院で測定を担当する森原徹氏は、肩関節機能評価グループとしても太秦体力測定会に参加する。

《本研究に用いた情報の二次利用について》

本研究において、京都先端科学大学以外の研究実施機関および共同研究機関でデータを解析する場合は、匿名化されたデータを利用します。研究実施機関および共同研究機関で用いた情報を他の研究機関等に提供することはありません。本研究に用いた情報は本研究の終了または研究成果の発表のいずれか遅い方から5年間保管された後削除されます。

京都先端科学大学で保管している太秦測定会データベース（既に取得したデータの内容）

- 上記のA「対象者が共通に実施する項目（基本コース）」のデータ
- 上記のB「希望する対象者に実施する項目（じっくりコース：自由参加）」の一部データ
- MRIに関するデータ
- 血液性状

- 身体活動量（DLW、活動量計）に関するデータ

（3）個人情報等の取扱いについて

太秦体力測定会で収集した情報は、京都先端科学大学研究倫理審査委員会による研究計画の承認を経て利用します。データベース化にあたっては、住所や氏名など、個人が特定できる個人情報を、個人が特定できない数値（ID）に置き換えた匿名化データセットを作成し、この匿名化データセットを京都先端科学大学が保管します。また、京都先端科学大学は、個人情報とIDの対応表を作成し、研究終了時まで厳重に保管されます。本研究への同意を撤回された場合は、対応表を用いて同意撤回の申請のあった方のデータを削除します。全ての解析で用いるデータは匿名化されたデータです。

（4）研究成果の公表について

新しい知見や独創的な成果が得られた場合は学会発表等で広く公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（5）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方が希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（7）の問い合わせ先へご連絡ください。

（6）データ利用の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の方の求めに応じて、対象者の方の試料・情報（データ）を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（7）にご連絡ください。

（7）本研究に関する問い合わせ先

お問い合わせいただきましたら研究責任者（機構長：藤田裕之）等が対応いたします。

研究全般に関する問い合わせ先

担当：京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構

木村みさか

住所：〒621-0022 亀岡市曾我町南条大谷 1-1

kameoka.kuas@gmail.com

電話番号：0771-29-3663